

# 令和8年度事業計画書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

- 1 避難器具用ハッチの登録認定及び避難用ハッチの自主認証業務
  - (1) 避難器具用ハッチの型式認定及び個別認定の実施及び推進
  - (2) 改修避難用ハッチ、非格納型避難用ハッチ、改修非格納型避難用ハッチ及び避難器具用ハッチに付加する機能評価品の自主認証の実施及び推進
  - (3) 避難器具用ハッチ・避難用ハッチ等の認定・認証業務に関する啓発及び普及宣伝
  - (4) 認定及び認証の証票の管理状況の確認並びに定期の立入調査の実施と品質確保
  - (5) その他認定・認証業務に関し必要な業務の実施及び推進
  - (6) オンライン申請に係る運用フォームの確立及びAIを活用した申請書類の確認業務の効率化の検討
- 2 避難器具の製造、設置に関する技術的な研究
  - (1) 学識経験者及び建築技術者と連携した木造建築物における避難器具の設置方法ガイドラインの作成の継続
  - (2) 木造建築物における避難器具設置に関する委員会の開催及び設置工法の研究
  - (3) 避難器具に使用する金属材質（ステンレス）に関する研究
  - (4) 養護施設等の高齢者及び要介護者等を対象にした新しい発想の器具開発に関する連携
  - (5) 避難器具の経年劣化に関する交換基準の整備及び設置業者が交換提案を行うための指針の作成
- 3 避難器具の適切な使用法を主とする啓蒙活動
  - (1) 取扱説明動画の各方面への広報活動
  - (2) 避難器具設置関係先に対する避難器具の適切な設置、使用、維持管理に関するリーフレット等の新規作成と配布
- 4 会員に対する情報発信の強化及び情報の共有
  - (1) Facebook、X(旧Twitter)などのSNSを利用した啓発普及並びに防火対象物関係者に対する点検整備の促進を図るための広報活動
  - (2) 工業会ホームページの刷新及び会員専用ページにおける情報共有機能の強化
  - (3) オンライン申請における申請状況の照会及び進捗確認機能の構築
- 5 避難に関する諸問題の研究
  - (1) 避難器具の老朽化を調査し、器具の交換を含めた維持管理を適切に行うための研究
  - (2) 学識経験者を交えた火災の実態と避難に関する諸問題の研究調査
  - (3) 住宅火災対策における災害時要援護者の避難器具の研究開発
  - (4) 避難器具の適切な設置、使用、維持管理、標識、表示等の避難安全に関する調

査研究

**6 防災思想の普及宣伝及びその他の防災に関する事業**

- (1) 東南アジア諸国への避難器具の普及に関する事業
- (2) 火災の実態に関する総合的事業への参加

**7 設立50周年に向けた周年事業の準備**

- (1) 工業会の歴史等の資料収集

**8 避難器具等の講習におけるテキストの編纂及び講師の派遣**

- (1) 各都道府県、その他関係団体からの要請による消防設備士講習会等への講師の派遣
- (2) 一般財団法人日本消防設備安全センターが実施する消防設備点検資格者講習への講師の派遣

**9 関係官庁及び関係団体との連絡協調**

- (1) 避難設備等に関する技術開発、法令規則等の改正、教育、宣伝、普及等について関係官庁及び関係団体への協力と提言
- (2) 関係団体との連絡による関係官庁の諸施策及び事業等の実施に関する協力
- (3) 一般財団法人日本消防設備安全センターの各委員会への参加
- (4) 関係官庁及び関係団体が主催する講演会への参加および情報発信の強化

**10 避難器具等の検定制度、認定制度等に関する協力**

- (1) 避難器具等の検定制度、認定等に関する協力
- (2) 日本消防検定協会が主催する委員会の専門部会へ委員の派遣協力
- (3) その他、検定、認定等の業務の円滑な業務運営を図るための協力

**11 各種表彰等**

- (1) 一般社団法人全国避難設備工業会会長表彰の実施
- (2) 叙勲、褒章、消防庁長官表彰及び一般社団法人全国消防機器協会会長表彰候補者の推薦

**12 機関紙、パンフレット、参考資料、図書の刊行及び配布**

- (1) 「会員名簿」の作成 (工業会)
- (2) 「機器協会会員名簿」、「消防法令改正関係資料」他の作成協力  
(一般社団法人全国消防機器協会)

**13 その他本会の目的を達成するために必要な事項**